

代 表 質 問

令和3年2月25日（木）

石政会代表

19番 伊藤 一治 議員

1. 市政執行方針について

- ①市政運営に対するご自身の評価と、今年度の基本方針について
- ②令和3年度の財政運営について
- ③地域経済対策について

2. 新年度の主要事業について

- ①石狩湾新港地域の新たな地域価値と市民生活の融合に向けた施策について
- ②地域防災力の強化・感染症対策等について
- ③厚田区・浜益区における地域活力の創造について
- ④小児科開業促進事業について

3. 教育行政執行方針について

- ①9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について
 - ②ICTの活用に関する基本的な考えについて
 - ③少人数学級への取り組みと、施設整備について
 - ④防災教育の推進について
-

改革市民会議代表

10番 米林 渙昭 議員

1. 新型コロナウイルスワクチン接種について

- ①「新型コロナウイルス感染症対策課」について
イ. その体制と、想定している役割の詳細を伺う
- ②市民へのワクチン接種実施に向けて予想される様々な課題について
イ. 医療スタッフ人員の十分な確保見通しは立っているか、またその確保の方策について伺う
ロ. ワクチン供給から実際の接種に至るスケジューリングについて伺う
ハ. ワクチンの冷凍管理から解凍後の使用期限に関する対応について、その詳細を伺う
ニ. 冷凍保存に関し、電源事故による停電などの事態に対する対策について伺う
ホ. 本年二回目の接種と、次年度以降のワクチンの継続的な接種に関しての市の考えと、その場合の供給体制・接種体制についての整備予定・計画について伺う

2. 市政執行方針について

①子育て支援

「石狩の未来を担う子育て・子育て環境の充実」について

イ. 結婚生活支援事業として最大 60 万円の助成金が用意されているが、今後新婚世帯の住居費及び引越し費用の一部の補助だけではなく、出産、子育て世帯への更なる支援の考えはないか伺う

②保健・医療・介護・福祉に関し

「住み慣れた石狩で生き活きと安心して暮らせるまちづくり」について

イ. 既存の地域包括支援センターについてはどのような利用状況だったのか、業務内容と数字を伺う

ロ. 新規開設予定の花川中央地域包括支援センターの委託先と、開設場所について伺う

ハ. 地域包括支援センターの増設により、実際にどのようなサービスの充実が図られるのか伺う

ニ. 第 8 期石狩市介護保険事業計画においては、在宅介護における世帯類型の変化に応じたサービス提供体制の検討とありますが、具体的に行う予定事業はあるか伺う

ホ. 「おひとり暮らし等安心登録サービス事業」の具体的な内容は。また既存の終活支援事業との関連性はあるか伺う

ヘ. 悪質な特殊詐欺から市民の財産を守るための、固定電話に接続する「自動通話録音機」の無償貸与が行われるが、啓発活動など更なる対策も必要と考えますが、市の考えを伺う

3. 教育行政執行方針について

目標として「ふるさとへの愛着をもち、幅広い視野で新しい価値を創造し、活躍する人を育てる」とありますが、その中で「老朽化が著しい公民館については、学び交流センターを改修・整備し、その機能を引き継ぐ体制を整えます」とあります。昨年年第 1 回定例会において、老朽化した公民館樽川分館に関し「地域住民や子供たちの引き続きの利用のための存続や、利用時間の確保を検討する」とのご答弁でしたが、その後の検討状況について伺う

4. ゼロカーボンシティ表明について

本市は 2050 年までにゼロカーボンシティを目指すとして表明し、市政執行方針においては洋上風力発電事業を柱に取り組む方針を示されていますが、目標達成のためには他の再生可能エネルギーの運用など、更なる重層的な取り組みが必要と考えますが、市の今後の取り組みの考えについて伺う

5. 警察署の誘致について

市民の安心・安全な暮らしというのは、インフラや住環境の整備とともに、防犯や、事故を未然に防ぐという視点も大切であり、日々発展を続ける新港地区においては、外航船舶の入港増に伴う水際・テロ対策の強化や、今後も増が見込まれる物流車両の交通事故への備えも必要です。市街地では子供たちの通学・遊びの場の安全の確保、高齢者の

安心して暮らしていけるまちづくり。巧妙化・広域化する昨今の犯罪から市民の財産・生命を守るための治安維持対策が必要であり、市民の悲願である警察署の誘致について伺う

日本共産党代表

6番 蜂谷 三雄 議員

1. コロナ禍から見えてきた社会問題と政治課題

- ①新型コロナパンデミックで見えてきた人々と現代日本社会の歪みへの認識と、誰しも希望もてる未来社会の展望について見解を伺う
- ②コロナが浮き彫りにした男女格差やケア労働の根本的な見直しが課題として明らかになっており、是正の発信が直結する地方から必要と考えるがいかがか
- ③地方自治の出発点だった仕組みや役割の再認識と今後の進むべき方向性について

2. コロナワクチン接種について

- ①コロナ対策としてのワクチン接種の位置づけと住民への勧奨について
- ②市内医療関係者の優先接種の現状と市内医療機関との連携について
- ③かつて経験のない感染予防一大プロジェクトとなるが、全市的体制の構築と人的確保について
- ④集団接種を含め会場確保などスケジュールとシミュレーションの実施など現在の到達状況について

3. 第3次漁業振興計画について

- ①第2次計画から第3次計画策定方針について。その中で漁業振興と洋上風力発電開発の扱い
- ②安全操業のための漁港施設の改修促進を道に求めること
- ③漁獲共済、特に積み立てプラスの国の継続支援
- ④海獣被害対策として少なくとも漁業資源増大の漁業者負担の保障について
- ⑤担い手の育成策

4. 過疎地域の振興について

「過疎特措法」が2021年4月から議員立法により施行されることとなっている。地域の産業振興や雇用対策としての「過疎計画」の策定準備がなされていると考えるがその骨子について伺う

1. 新型コロナウイルスワクチン接種について

- ①ワクチンに関する的確な情報提供を
- ②高齢者施設等、訪問での接種について
- ③在宅介護を受ける方への接種について
- ④多くの方の接種機会確保のため、集団接種の曜日・時間帯の工夫、職場等での実施を

2. 新型コロナウイルス感染防止対策

- ①高齢者施設等従事者のPCR検査を保健所との連携により推進を
- ②高齢者施設・障がい者施設・放課後児童クラブ・認定こども園等における感染者発生
の場合の支援体制について

3. 農作物の鳥獣被害対策について

鳥獣被害対策として、ジビエとしての活用推進を

4. 終活情報等の登録について

- ①「おひとり暮らし等安心登録サービス事業」の内容について
- ②年齢に関わらず希望者全てを対象に

5. 要配慮者利用施設での災害対策について

- ①避難確保計画策定状況について
- ②けん引式車いす補助装置を災害時要援護者対策用資機材として活用を

6. 日本遺産事業について

- ①日本遺産事業見直しへの対応について
- ②日本遺産を活かした取り組みについて